

Cisco IQリリースノート2026年8月

概要

Cisco IQ™は、AIを活用したプラットフォームで、お客様やパートナーがシスコのサポートサービスやプロフェッショナルサービスを利用する方法を変革するように設計されています。Cisco IQは、複数のポータル、ツール、APIを1つのインテリジェントインターフェイスに統合し、Cisco Customer Experience(CX)の全リソースに対して「玄関番」として機能します。このプラットフォームにより、インベントリ管理、脆弱性検出、サポートサービスへの接続が簡素化されます。

Cisco IQモジュールと機能には以下が含まれます。

- 資産に関する予測的な洞察：インベントリ追跡ライフサイクルのマイルストーンと、関連するField Noticeおよびセキュリティアドバイザリの提供を統合
- 適応型インフラストラクチャアセスメント：運用状態およびセキュリティドメイン全体にわたるAI主導のアセスメントにより、カスタマイズされた計画と優先順位付けされた推奨事項を生成
- AIを活用したサポート：最新のケース管理とAIサポートにより、エキスパートエンジニアを模倣して根本原因の分析とケースの解決を迅速化
- プロフェッショナルサービスの自動化：計画、設計、実装、運用、最適化のための自動化されたデータ駆動型ワークフロー。デジタル要件収集、ドキュメントの自動化、テクノロジー移行、自動化ガバナンス、テストおよび検証フレームワークが含まれます。

このドキュメントでは、Cisco IQの新機能、モジュールサポート、および既知の問題について説明します。

リリースされた機能

IntersightおよびWebex収集時間の向上

以前は、新しく追加されたIntersightおよびWebexクラウドアカウントでデータが表示されるまでに最大24時間かかっていました。Cisco IQは、IntersightまたはWebexクラウドアカウントを追加してから1時間以内にデータを入力するため、ネットワークに関する包括的な洞察に迅速にアクセスできます。

-
-  注：
- 非常に大規模なデバイス構成を持つクラウドアカウントでは、処理時間が長くなる可能性があります。
 - その後の各クラウドコネクタのデータ更新は日単位で行われます。
-

Cisco IQ Linkを介して接続されたデバイスの迅速な問題解決

サポートモジュールが、関連するログファイルを自動的に添付してケースの所有者にアクセス権を付与するようになったため、Cisco IQリンクで接続されたデバイスに対してサポートケースが開かれた場合、テクニカルアシスタンスセンター(TAC)のエンジニアがリモートでアクセスできるようになりました。これにより、追加の入力なしで即時にトラブルシューティングが可能になり、ケースの解決が促進され、遅延が減少します。

Meraki収集時間の延長

以前は、新しく追加されたMerakiクラウドアカウントでデータを表示するのに最大24時間かかっていました。Cisco IQは、Merakiクラウドアカウントを追加してから1時間以内にデータを入力するため、ネットワークに関する包括的な洞察に迅速にアクセスできます。

解決済みの問題

このリリースでは、次の問題が解決されています。

Quantum Safeの通信結果に関するハードウェア更新の推奨事項を表示

以前は、ハードウェアの更新の推奨事項は、セキュアブートの障害に対してのみ表示されていました。「Not Supported」とマークされたQuantum Safe通信機能を持つデバイス（つまり、ハードウェアはその通信プロトコルの量子耐性をサポートできない）では、推奨される交換プラットフォームにハードウェアの更新に関する推奨事項が正しく表示されるようになりました。

Quantum Safe Assessmentが、サポートされているソフトウェアの種類とデータソースを返すようになりました

以前は、Quantum Safe Network Infrastructure Assessmentで、サポートされているソフトウェアタイプ（IOS XE、IOS XR、ASA、FTD、NX-OS、NX-OS ACIなど）、サポート階層、サポートされているデータソースなどの正しいメタデータが返されませんでした。この情報は、評価の詳細の一部として正しく返されるようになりました。

サービス契約の追加が解決済み

以前は、System Settings > Service Contracts > Add Contractの順に選択してサービス契約を追加しようとする、エラーが発生していました。契約を保存できず、エラーから実行可能なガイドンスが提供されませんでした。この問題は解決され、サービス契約を正常に追加できるようになりました。



注:Merakiに対するその後のデータ更新は、毎日のように行われます。

既知の問題

次の既知の問題がCisco IQで現在積極的に対処されています。

評価モジュール

不正な影響を受けるアセット数の表示

現在、Assessments > Field Noticeでは、特定のField Noticeの影響を受ける資産数がField Noticeの詳細ページに表示される数を超えている可能性があります。ただし、詳細ページ数には、影響を受ける資産の正確な数が反映されます。この問題には有効な回避策はありません。

セキュリティアドバイザリのカウントに一貫性のない重複する資産

現在、Assessments > Findings by Assetでは、一部のアセットが重複するエントリとして表示される場合があります。さらに、アセットの詳細ビューに移動してアクティブなセキュリティアドバイザリを表示している間は、リストビューに「影響を受ける」セキュリティアドバイザリの数「0」と表示される場合があります。この問題には有効な回避策はありません。

セキュリティ強化セクションと設定セクションが断続的に消失する

現在、Assessments > Overviewページでは、「Security Hardening」セクションと「Configuration」セクション（それぞれの棒グラフとナビゲーションリンクを含む）が断続的に非表示になっている場合があります。通常、ページを更新すると、見つからないセクションが復元されます。

Field NoticeがAsset Field Noticeページに表示されない

現在、特定の資産については、資産概要ページの棒グラフに1つ以上のField Noticeが正しく表示されています。ただし、同じ資産のField Noticeの詳細ページに移動すると、「Field Noticeの問題は検出されませんでした」というメッセージが表示されます。この問題には有効な回避策はありません。

AIアシスタント

AI Assistantが脆弱性デバイスリストクエリに応答しない

現在、特定の脆弱性の影響を受けるデバイスのエクスポート可能なリスト（たとえば、「Cisco IOS XEソフトウェアのWeb UI機能の脆弱性の影響を受けるデバイスのエクスポート可能なリストが必要です」）を要求するプロンプトを送信する際、AI Assistantは応答を返さずに無期限に実行できます。この問題の回避策はありません。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。